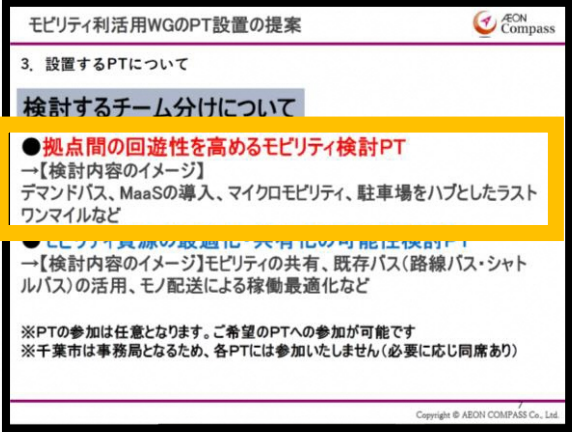


検討内容の整理



出典：第3回モビリティ活用WG イオンコンパス(株)資料

「拠点間の回遊性を高めるモビリティ検討PT」における検討内容のイメージ

モビリティの整備について

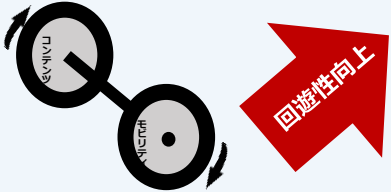
(デマンドバス、MaaSの導入、マイクロモビリティ、駐車場をハブとしたラストワンマイル等)

▼ but...

モビリティを整備するだけでは回遊性を高めることはできない。
= 移動する目的を整備し、移動を“作る” “デザインする”必要がある。



【進め方】
コンテンツとモビリティを両輪として回遊性向上に取り組む。



【今年度の目標】
2022年度に予定される実証実験のコンテンツとモビリティの案についてまとめる。

コンテンツについて

☆コンテンツ案に関する会員のみなさまからのアイデア…イベント、ユースケース、電子チケット、割引サービスなど

➔ 幕張新都心の住民の生活をより便利にするものと、来街者のお客さまを迎え入れる両面の仕組みづくりが必要

▶ イベント※、電子チケット、割引サービスについてもユースケースの一部として考えられる。

※イベントは毎日開催できるものではなく、イベント開催日以外の回遊性向上についても重要な課題

各施設を可視化し、日々の生活や来街者についてのユースケースを描く(深掘りする)。

= 便利で持続可能な移動環境とするため、日々のユースケースからふさわしいモビリティを考える。

▶ 来街者のお客さまを呼び込むきっかけとして、イベント、電子チケット、割引サービスなどの実施を検討したい。

イベントの実施にあたっては、地域で協力し、幕張新都心地区内の回遊を促す仕掛けを取り込んだものとしたい。

コンテンツ案

- Webスタンプラリー**: 全てのチェックポイントを回ることで限定グッズをもらえる企画をイベント開始前に実施する。事前に承認してもらい、周回を促してもらう。
- ビジネスマッチング**: 来街者に対して、街の情報や店の情報、コミュニケーション機会情報を積極的に発信する。朝顔でデジタル名刺交換。
- フォトログイン**: 施設上にあらかじめ設定されたチェックポイントを制限時間内で多く盛り撮りした会計ポイントをもらう。チェックポイント通過の証明に目的を撮影した写真を用いる。
- 各種イベントの機能的な編立て**: 専用メッセージやZOZOマリンスタジアムで行われるイベントの組合せや時間を変更し、生まれた時間で周辺施設を利用してもらう。イベントと周辺施設での消費を一体的に考え、相互連携を行う。
- セット割引・サブスクチケット**: 2施設以上の組合せ割引チケットを販売し、店での滞在時間を増やす。Webサイト(アプリ)上で販売とし、販売場所を明確にする。
- 人気キャラクター撮影会**: AR技術を活用して各施設で「人気キャラクター」と一緒に写真撮影する。
- 施設連携ポイント付与**: 対象施設を訪れるだけでもらえるポイントを付与する。
- 住居利便サービス**: 千葉市(遠近区民?余市民?)在住が確認できれば帰帰、飲食、施設利用等に割引きを適用する。

ユースケース



モビリティについて

☆ **日々のユースケースから**ふさわしいモビリティを考える。

・街のポテンシャルを可視化してわかるように、エリア内には広範囲に飲食、買い物、生活施設が点在している。

▶ 既存モビリティではカバーしきれていない部分もある。

既存モビリティと補完し合うものとして、

= **循環バス、直通バス(幕張駅～海浜幕張駅)、オンデマンド交通**を導入してはどうか。

※ 今後の利用者が増える可能性や二次交通の乗降ポイントからのさらなる移動への対応については、既存のHELLO CYCLINGを活用する。

▶ **HELLO CYCLING**はポートが相当数あり、例えばオンデマンド交通の乗降ポイントとなり得る場所とマッチするので、すでに面的な移動環境となっているのではないか。

※ 駐車場についても相当数確保されているが、情報発信や予約システム等が整っていない。

→モビリティそのものではないが、**駐車場シェアリングサービス**についても検討できる内容ではないか。

電車やマイカーで幕張新都心まで来て、エリア内は公共交通機関を利用して移動していただく。

▶ **街の回遊性の向上、消費の拡大、渋滞解消につながる。**

次年度 モビリティ実証実験(案)

HELLO CYCLING

ポートが相当数あり、他モビリティの乗降ポイントとなり得る場所とマッチしている。

駐車場

相当数あるが、情報発信や予約システム等が整っていない。→ **情報発信&予約システムを導入しパーク&ライドを実現**

